熊本学園大学
水俣学研究センター
2016年度
第13期　公開講座

熊本地震と水俣

―地震への備えを考える―

2016年
9/27～10/25

毎週火曜日
午後6時半～8時半

水俣市公民館
2階　第1研修室
水俣市浜町2丁目10-26

後援：水俣市

熊本では、2016年4月14日･16日の2回、震度7の揺れを経験しました。震源地の益城町を中心に、死者50名、16万棟余の建物が甚大な被害を受け、避難生活が続き、生活再建のめどが立たない人たちも少なくありません
水俣でも震度5の揺れを経験しました。1960年に建てられた水俣市役所は損傷し、市役所機能の移転を余儀なくされました。建物被害やチッソ旧八幡残渣プール周辺の護岸の破損なども報道されています
今後、水俣で震度6を超える地震が発生する可能性があり、来るべき地震にどう備えるのか、防災計画の再構築は喫緊の課題です
熊本地震発生直後からの避難所設置や運営、しょうがい者支援、避難者としての経験から、**今後の地震にどう備えるのか、水俣市の防災計画にどう活かしていけばよいのか**を共に考えていきたいと思います

受講はすべて無料です。全講義受講者には修了証を発行します

9/27 和田 要
熊本学園大学社会福祉学部教授
「益城町の被災状況」

10/4 天野和彦
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任准教授
「地域を創る―いま地域で生きるために大切なこと」

10/11 河田惠昭
関西大学社会安全研究センター長
「熊本地震からの復興と次の大震災にどう備えるか」

10/18 花田昌宣
熊本学園大学水俣学研究センター長
「困難を抱える被災者への支援体験 ―熊本地震における大学避難所の取り組み」

10/25 東 俊裕
熊本学園大学社会福祉学部教授・被災地障害者センターくまもと事務局長
「被災した障害者に対する支援とその取り組みから見えてくるもの」

お申し込みは
水俣学現地研究センター
開館時間 火～金 10:00-16:00
〒867-0065 水俣市浜町2-7-13
TEL/FAX 0966-63-5030
e-mail m-genchi@kumagaku.ac.jp